



吉田國男委員長

法人会では、公平で健全な税制の実現を目指して会員企業の意見や要望を反映しながら、税のあるべき姿や将来像を見据えて建設的な提言を行っています。

今年も五月三十日(金)、ホテル金沢にて県連税制・税務委員会(吉田國男委員長)を開催し、平成二十七年度税制改正要望事項について審議し、全法連へ提出しました。なお、全法連では各県連からの要望を取りまとめ、「税制改正に関する提言」として、国や地方自治体に提言活動を行っています。

【総論】

ようやく先行きに明るい兆しが見えるものの、消費税の税率アップがどのような形で経済に影響を及ぼすかも透明であり、かつ地方の中小企業は、景気回復の恩恵を受けずにいまなお経営健全化のために懸命な努力を続けている。地域に根ざした中小企業が雇用や納稅その他いろいろな面において十分に社会的責任を果たすことが日本経済の活性化の原点であると考える。

我が国の社会保障制度の現状は、高齢化の進展に伴い毎年増加する社会保障給付費を社会保障料及び税収を財源として維持することが困難となり、多額の特例国債の発行により維持されている。しかし、この構造上の問題を将来世代に先送りすることなく、短期的に社会保障制度の見直しや財源を安定的に確保するための税の抜本的な改革が早急に求められる。併せて、聖域なき行政改革による歳出削減を断行し、社会保障不安を払拭するなど国民が安心して生活できる社会の創造を強く求めるものである。

以上のような基本姿勢のもと、中小企業や小規模事業者を中心とした地域経済の活性化、少子高齢化社会への対応等の配慮が重要と考え、中長期的な展望で税制改革が行われるよう強く要望する。

- ◎個人所得課税の諸控除について、負担の公平化、税制の簡素化、さらには損益通算等の見直しをすべきである。
- ◎住民税の均等割引き上げること。
- ◎税率構造、諸控除等の課税ベースの多様化など社会構造の変化を踏まえて抜本的な見直しを行うこと。

中長期的展望で税制の抜本的改革を —平成二十七年度税制改正要望事項(抜粋)—

【個別事項】

新会員紹介

(平成二十六年四月一日～六月三十日まで)

◆法人名 ◆代表者名

[個人会員]	太田眞里子	小鏡治裕子	山田政之
木村 基之	馬場 澄江	小川純一郎	小川義之
樋田 潤子	渡瀬 知美	根布 信秀	根布 信秀
宮崎 順子	安田 康之	池端 幸典	池端 幸典
高井接骨院	羽田 和政	酒下 博文	酒下 博文
勝崎館	鶴見 静朗	博文	博文
網善商店	村田 静	大庭 伸	大庭 伸
一富士写真館	山岸 由佳	大庭 伸	大庭 伸
特定社会保険労務士中川晋作事務所	村端 一男	大庭 伸	大庭 伸
(有)富井製本所	村端 一男	大庭 伸	大庭 伸
株家元	村端 一男	大庭 伸	大庭 伸
株フルーツむらはた	村端 一男	大庭 伸	大庭 伸

- ◎中長期的展望で税制の抜本改革を
—平成27年度税制改正要望事項(抜粋)—

- ◎財政の健全化と公益事業の拡充
—第2回通常総会を開催—

◎ nice work

ふるさとの美味を全国へ 先取りの精神と行動力で136年

株式会社 堀他 常務取締役:ギフト商品部部長 須田泰子

- ◎新シリーズ石川の郷土料理②
ごりの佃煮



公益社団法人金沢法人会

<http://www.kanazawa-houjinkai.or.jp/>

法人会
消費税期限内納付

推進運動

表紙:石川県立博物館

ほうじん

金沢

広報

第205号
平成26年
12月8日発行

日本の政治経済の現状と今後の行方

後藤
謙次氏

総会に先立ち、元共同通信社記者で現在は政治ジャーナリストとして活躍されている後藤謙次氏による記念講演会を開催しました。

を見せながら、政権発足から五百日以上を閣僚の交替もなく乗り切ってきた安倍政権。TPP交渉などさまざまな問題が山場を迎えるなか、消費税率を上げるかどうか、決断する時期も迫っています。

第一次安倍政権との違いは「余裕」



金沢税務署長着任のごあいさつ
適正かつ公正な賦課・徴収に努めます

高井 和男 (たかい かずお)

歷	
和48年4月	金沢国税局総務部総務課(採用)
成51年7月	熱田税務署副署長
17年7月	金沢国税局課税部国税訟務官
19年7月	金沢国税局課税部資料調査第一課長
20年7月	金沢国税局総務部企画課長
21年7月	金沢国税局徴収部管理運営課長
23年7月	魚津税務署長
24年7月	国税庁長官官房金沢派遣首席国税庁監察官
26年7月	金沢税務署長(現職)



この度の人事異動により、金沢税務署長を拝命しました高井でございます。

公益社団法人金沢法人会の皆様方には、平素から税務行政の円滑な運営につきまして、深いご理解と多大なご支援を賜つており、本誌をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

これまでに諸先輩が築いてこられた金沢法人会との信頼関係を礎として、会員

Irene 清掃の実施などの積極的な地域社会貢献活動への取り組みは、地域社会に高く評価されているところであります。私どもとしましては、大変心強く思つてゐる次第であります。法人会の皆様方とのよき連携・協調を図つてまいりたいと考えております。

さて、税務行政を取り巻く環境は、少子・高齢化や経済のグローバル化・IT化による社会経済の変化や、大きな被害をもたらした東日本大震災による影響などにより、非常に厳しいものとなつて

金沢署法人関係職員名簿 (平成26年7月10日現在)

署 筆 頭 副 署 副 副 署 筆頭特別国税調査官(法人担当)	長 長 副 署 長 長 長 長	高井 小間 新谷 近藤 高橋 椿谷 西濱 八島 福井 今出 中田	和男 啓志 登志美 茂 正 雅寛 直樹 敏行 正博 洋子 俊介	(新) (新) (新) (新) (新) (新) (新) (新) (新) (新) (新)
特別国税調査官(法人担当)				
特別国税調査官(法人担当)				
特別国税調査官(法人担当)				
連絡調整官				
特別国税調査官(源泉担当)				
法人課税第1部門		瀧田	英樹	(新)
法人課税第2部門		池上	壽信	(新)
法人課税第3部門		久島	武史	(新)
法人課税第4部門		重田	隆司	(新)
法人課税第5部門		田宮	裕介	(新)
法人課税第6部門		杉本	長正	(新)
法人課税第7部門		黒氏	宇吉	(新)
法人課税第8部門		遠藤	弘和	(新)
情報技術専門官		穴田	宣仁	(新)
国際税務専門官		野村	和重	
特別調査情報官		安田	良廣	
審理専門官(法人担当)		福井	剛	(新)
審理専門官(源泉担当)		寸田	恭子	
連絡調整官		木島	正明	(新)

の皆様方との意思疎通を図りながら、職務を遂行してまいりたいと考えておりますので、前任者同様どうぞよろしくお願ひ

して、会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と企業経営及び社会の健全な発展に貢献することを基本の方針として、幅広い活動を開催してこられました。特に、「税」に関する研修会や講演会を一般の市民にも対象を広げて開催するなど公益性を高められたほか、会員による租税教室の開催、「タオル・石鹼持ち寄り運動」で集まつたタオルや石鹼の社会福祉施設等への寄贈、「親子で磨こうトライアスロン」と「心」をキヤッチフレーズにしたトライ清掃の実施などの積極的な地域社会貢献活動への取り組みは、地域社会に高く評価されているところであります。私どもとしましては、大変心強く思つて次第であります。法人会の皆様方とのよき連携・協調を図つてまいりたいと考えております。

イレ清掃の実施などの積極的な地域社会貢献活動への取り組みは、地域社会に高く評価されているところであります。私どもとしましては、大変心強く思つてゐる次第であります。法人会の皆様方とのよしり一層の連携・協調を図つてまいりたいと考えております。

そうした中で、国税庁の任務である「適正かつ公平な賦課及び徴収」を実現し、税務行政に対する国民の信頼を確保していくためには、納税者の視点に立った税務行政を行つていくことが重要であると考えております。

そのため、昨年一月から施行された改正国税通則法に基づき、調査手続の透明性と納税者の予見可能性を高めるなどの法改正の趣旨を踏まえ、定められた税務調査手続に基づき調査を実施しているところであり、今後とも適正な調査・徴収に努めてまいる所存でございます。

また、本年四月からの消費税率の引上げ等については、事業者の方が消費税の仕組みや改正内容を十分に理解し自ら適

に努めます

正な申告・納税が行えるよう広報・相談・指導に取り組んでおりますので、法人会の皆様におかれましても、引き続き税務行政へのご理解とご協力を願い申し上げます。

もう一度、経済再生内閣

「レからぬ脱却」という大きな目標があつたからです。「アベノミクスを採点する」とA,B,E。第一の矢である大胆な金融緩

総会議案書（情報公開）の閲覧は
金沢法人会ホームページ
<http://www.kanazawa-houjinkai.or.jp>
から

的な動きに変わつてきました。ただ、こ
こへ来て中国の姿勢も変わりつつあります。
「責任ある大国」を国際社会に印象
付けたい、東南アジアやインドに向かい
つつある投資の流れを取り戻したいとい
う中国側の思惑もあり、十一月に北京で
比例代表並立制が導入されて約二十年
最近は政治家一人ひとりの発言のパワー
が急速に落ちています。これが日本社会
の衰えであるとともに政治自体の地盤沈
下の原因でもあるように思います。ま
ずは経済復興が安倍さんの使命であり

い日本。ギリギリまで交渉が続き、共同声明発表は大統領の離日直後となりました。情報管理が行き届いているため農産品等の交渉内容は聞こえきませんが、アメリカの中間選挙が本格的に動き出す前に交渉最大の山場が来ると思われます。

三番目の訪問はモンゴルのウランバートルでした。このウランバートルといういう活字が躍る時は裏で拉致問題が動いています。拉致被害者のご家族も高齢になり、問題解決に向けた、日朝交渉には相当力を入れていくと思います。

そして東京五輪開催が決定して以降の外交は、民主主義等の価値を共有する国々との「価値観外交」を繰り広げながら、結果として中国を包囲しようという戦略

政権なのだから、もう一度そこに全力投球すべき」と言っています。これは当然のことです、アベノミクスが失敗すると政権そのものの屋台骨がゆらぐのです。その意味で安倍総理が恐らく一番頭を悩ませているのは、来年十月に消費税率を一〇%に上げるかどうかでしょう。

また内閣改造を控えて、人事が今後の焦点になってしまいます。閣僚を入れ替えて強くなつた政権はないのですが、閣僚適齢期と言われる人たちが四十三人もいる中で小幅な改造にとどめた場合、ポストにあぶれた人たちが反安倍のマグマになれる可能性もある。来年九月に行われる自民党総裁選に向けた動きを見据えながら入れ替えざるを得ません。

和はA、第一の矢である機動的財政出動はB、第三の矢の成長戦略はEだなどといったブラックジョークが永田町でさやかれる中、自民党総務会長の野田聖子、(左)吉田茂氏(右)、(右)小泉純一郎

T&D
T&Dホールディングス

全国の中小企業経営者の
みなさまへ。

この国を支える
あなたを、
保険の力で支えたい。

長くつづく会社が多い国は、
いい国だと思う。

企業を支えつづける夢がある。

DAIDO 大同生命

金沢支社/金沢市南町4-60 TEL 076-231-1195

◆役員会・委員会・懇談会		◆研修会・説明会・社会貢献		事務局だより	
5月15日	5月13日	5月8日	5月30日	4月9日	4月9日
第2回通常総会	青年部会第2回理事会	東部ブロック支部長会議	監事会議	第9回法人会全国女性フォーラム香川大会	決算期別説明会
女性部会第19回通常総会	女性部会第29回通常総会	女性部会第1回正副部会長会議	第1回理事会	新設法人説明会	4月定例研修会
女性部会第1回正副部会長会議	女性部会第1回正副部会長会議	女性部会第1回理事会	津幡支部研修会	女性部会総会記念講演会	5月15日
7日	7日	7日	10日	10日	10日
女性部会第1回正副部会長会議	女性部会第1回正副部会長会議	女性部会第1回正副部会長会議	第1回正副会長会議	女性部会第1回正副部会長会議	青年部会拡大・広報委員会懇親会
第1回正副会長会議	第1回正副会長会議	ト活動	第1回正副会長会議	第1回正副会長会議	5月30日
21日	22日	22日	22日	22日	22日
21日	22日	22日	22日	22日	22日
21日	22日	22日	22日	22日	22日

ほうじん金沢 第205号
平成26年12月8日発行

発行所
〒920-0919
金沢市南町4番60号(大同生命ビル2階)
電話076-222-2907/222-2910

公益社団法人 金沢法人会
編集発行人 七田 伸義
印刷所 ヨシダ印刷株

交流会 青年部会 富山法人会との

母から伝承する ごりの佃煮

石川の郷土料理 2

母から受け継いだなつかしい味に
ちょっとひと工夫を加えて食卓へ——
次の世代へ、また次の世代へと伝えます。

【献立の例】ちりめんじやこ入りわかめごはん／かれいの煮つけ／里芋のそぼろあんかけ／大根のゆず汁
(メニュー作成:内灘町食生活改善推進協議会)

伝えたいこんなこと
河北潟でとれるごり(かじか)を佃煮にして保存し、いつでも食卓にのせておきます。

材料(4人分)

- ごり…500g
- たかの爪…1本
- 酒…1カップ
- A(仕上げの調味料)
- 醤油…80cc
- 砂糖…10cc
- みりん…200g

作り方

1. ごりを塩もみして、ぬめりやくさみをとる。冷水でサッと洗い、ザルにあけて水気を切っておく。
2. 鍋にA以外の調味料をすべて入れ、沸騰したら種をとつたたかの爪を入れて1を入れる。
3. 鍋のフタを開けたまま強火で2~3分煮上げて、アクをとる。
4. 火を弱めて30分煮てから、火を止めて冷めるまでおく。
5. 冷めたらもう一度火を入れ、弱火で15分煮る。その間にAの調味料を加えて照りをつける。
6. 熱いうちにザルなどにあけて、汁を切る。

ワンポイント

- ・ごりに照りをつけるため、煮上がったら一度火を止めて冷まします。水飴を入れるといつそううツヤが増します。
- ・フナや稚鮎でもお試しください。

【写真提供・協力】石川県観光連盟

人気の金沢土産「ごりの佃煮」を手づくりで
金沢の三文豪の一人、室生犀星は「ごりは醜いが垢抜けし、風流な魚」と言つたとか。
確かにひょうきんな御面相ではありますがあ、刺身や唐揚げ、ごり汁など金沢の郷土料理には欠かせない食材です。

かつては町中を流れる犀川や浅野川にもごりは棲み、三角の竹笊と押し板を持った二人が一組になって石の下に隠れたごりを追い出す「ごり呼び漁」は、金沢の風物詩だったそうです。でも今は、犀川や浅野川で獲れるごりは希少な存在となり、佃煮にされるのは主に河北潟の「潟ごり」、その「潟ごり」も漁獲量が減っています。長い冬に備える保存食だった「ごりの佃煮」を手づくりする家庭は少なくなってしまいましたが、自家製なら甘さの調整も自由、作り方をマスターして常備してはいかがでしょうか。

館の建物は明治四十二年から大正三年にかけて建てられた金澤陸軍の兵器庫三棟で、貴重な建物で平成二年に国の重要文化財に指定されています。金沢の歴史、資料を見ることができる、多くの森公園の緑に囲まれた美しい金沢の景観です。

写真提供/石川県観光連盟

表紙解説 金沢の今 石川県立博物館